

(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

栗原市立築館中学校

○ 私たちの取組

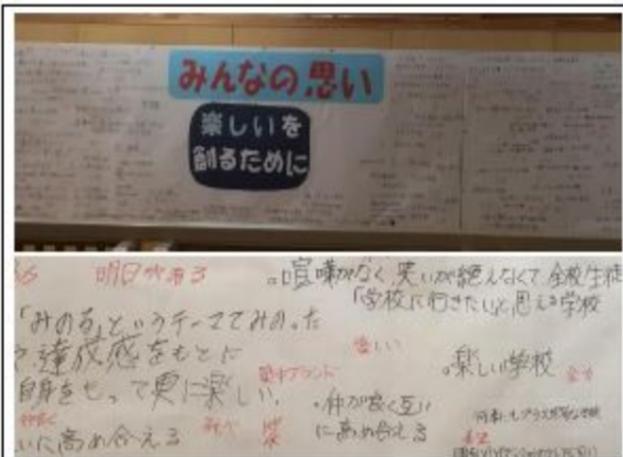
みんなの思い『楽しいを創るために』メッセージの掲示

○ 取組の紹介

- ・「どんな学校が楽しいと思えるか」について一人一人の思いを記入してもらいました。「築館中学校をより良くしたい」という生徒会の思いを全校生徒に投げかけました。学活の時間に一人一人に「楽しい学校にするために」「楽しいを創るために」という思いを言葉に表してもらい、その言葉を生徒会執行部が中心となって全校生徒の思いを模造紙にまとめて、廊下に掲示しました。

成果

- ・職員室前の廊下に掲示したことで、全校生徒がいつでも見ることができるようになりました。
- ・自分と同じ思いをする人がいるという安心感があつたのか、掲示した後、全校生徒の表情が明るくなったと思います。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

栗原市立若柳中学校

○ 私たちの取組

『いじめについて考える生徒朝会』

○ 取組の紹介

- ①寸劇でSNSでのいじめと、学校生活で起こりがちないじめの事例を分かりやすく紹介した。
- ②その場面で自分だったらどのような行動をとるか班で話し合い、代表が発表した。
- ③その後、生徒会役員が考えるいじめに関する考えについて発表した。
- ④取組の振り返りアンケートを実施（その中で、1人1人がいじめ防止の案を考えた。）

成果 いじめについて、他人ごとではないという当事者意識を高めることができた。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

栗原市立若柳中学校

○ 私たちの取組

「行きたくなる学校づくり」のための
ハピネスキャンペーンの実施

○ 取組の紹介

- ① 1日を振り返り、「良かったこと」を見つけ、幸福度で示した。 ※幸福度は1%～100%で表示
- ② 全校から寄せられた「良かったこと」を昼の校内放送で紹介した。

成果 前向きに物事をとらえ「良さ」を積極的に発信し、共有することで改めて友達の優しさに気付くことができた。

※アンケートに
目を通す様子→



ハピネスキャンペーン ～生徒会～
♡今日のハピネス度を書いてください!
例) 88 ♡♡♡ ※1～100%でお願いします。

15日(水) 16日(木) 17日(金)

♡ 90 % ♡ 90 % ♡ 85 %

♡今週のハピネス度うれしかったことを書いてください!

18日
(金) 95 %

- ♡ ♡うれしかったこと♡ ♡
- ・友達と話っていて楽しかった。
 - ・心配していたことを友達が助けてくれた。
 - ・自分のレジャーと発見が面白かった。
 - ・遅れたと知らず着て持っていたかった。

(様式)いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

栗原市立栗駒中学校

○ 私たちの取組

「ヒーロー選手権」, 「正義の味方運動」

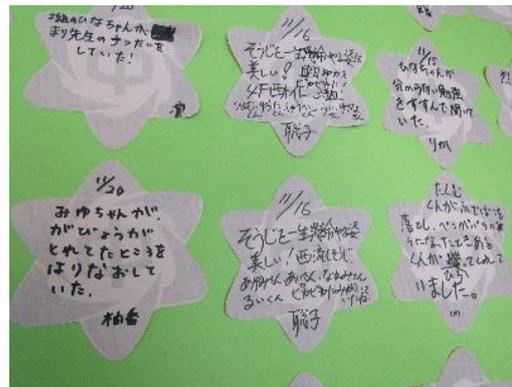
○ 取組の紹介

栗駒中学校では、生徒が互いを認め合う関係作りに努め、「だれもが行きたくなる学校」を目指して様々な取組を行っています。その一つが、1学年の「ヒーロー選手権」、2, 3学年の「正義の味方運動」です。

仲間が行った良い行動を発見し、その内容を書いて掲示することにより、「仲間の良い行動」を積極的に探す意識を持てるようになりました。例えば「移動教室の際、けがをしている〇〇さんの学習用具を△△さんが運んでいた。」や、「〇〇君が、口論しかけている2人の間に入って仲裁していた。」などの投稿があります。

この活動を始めてから、積極的に人の良い行動を探す人が増えたのと同時に、良いことをして周囲のために尽くそうとする人が多くなりました。

廊下に掲示するとともに、学級通信や学年通信等で紹介することで、保護者の方や来校者の方々等、誰にでも「ヒーロー選手権」と「正義の味方運動」の取組を確認してもらえるようになっています。



(様式)いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

栗原市立栗駒中学校

○ 私たちの取組

あいさつ運動

○ 取組の紹介

生徒が互いを認め合う関係作りに努め、「だれもが行きたくなる学校」を目指し、生徒会が主体となって毎朝あいさつ運動を行っています。

挨拶には、人と人をつなぐ力があると考えます。全校生徒のつながりが強くなれば、お互いに相談したり助け合ったりして、いじめの起きない学校になると考えます。

この活動により、今、学校では進んで挨拶する雰囲気を作られ、廊下ですれ違う際にもお互いに自然に挨拶ができるようになりました。また、現在は「地域で実践できてこそ本物」との合い言葉のもと、「いつでも、どこでも、誰にでも」を合い言葉に、更にこの運動を広げようと頑張っています。



○ 私たちの取組

- ・ SNSの利用についてのプリント作成と配布

○ 取組の紹介

- ・ 私たちはSNSでのトラブルがいじめにつながってしまうと考えたため、「SNSの使い方を見直そうキャンペーン」を企画しました。キャンペーン活動の第1弾として、SNSのメリットとデメリット、SNSを巡るトラブルの事例を全校に紹介しました。私たち中学生の身の周りでも実際にSNSを巡るトラブルが発生していることを知ってもらう良い機会となりました。
- ・ 生徒会執行部の話し合いでは、スマホの使用と睡眠時間が関係していること、ブルーライトが視力に影響を及ぼすことなどを知ることができました。特に、就寝前のスマホの使用はブルーライトの効果によって、脳が覚醒状態になってしまい、眠りにつきにくくなることは大きな驚きでした。一方で、災害時の安否確認、連絡手段や情報源として効果的な手段であることも学ぶことができました。SNSによって避難所や救援物資の情報を手に入れることで、災害から孤立してしまうことを防ぐことになると理解できました。
- ・ プリントの作成では、調べた情報をどのようにまとめ、どのような言葉で伝えると良いのかを悩みながら作成しました。資料やイラストを用いて、一目で見て分かるようなプリントを目指しました。パソコンを使っての作成は初めてで難しいこともありましたが、今後の生徒会活動に生かしていきたいと思います。



いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

栗原市立 金成 中学校

○ 私たちの取組

私たちの学校に「PRIDE」をもちょう ~ 校歌コンクール ~

○ 取組の紹介

クラスごとに校歌を練習し、生徒朝会で発表をして良かったクラスに一人一票全校生徒が投票して表彰する。

成果

○ いつもの何気なく歌っている校歌が「活気で満ちあふれた」。

○ 各クラスで工夫があって手拍子もしながら歌うクラスもあった。

○ その後の集会でもみんな自ら率先して楽しく校歌を歌うようになった。

今後

いじめをしようと思わないうらい、毎日楽しいことであふれる学校にしたい。

第1回

校歌コンクール

日時：12月17日（月）

生徒朝会

いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

栗原市立金成

中学校

● 私たちの取組

☆ あいさつ運動 ～ハイタッチをしながら、いろいろな国の言語であいさつをしよう～

● 取組の紹介

☆ 内容：楽しくあいさつをしたくなる工夫として、いろいろな国の言語であいさつをする。また、あいさつをする際にハイタッチを取り入れる。

☆ 成果：〇楽しんであいさつをすることができ、前よりもあいさつが増えた。

〇ハイタッチをしながらあいさつをすると、自然とみんなが笑顔になった。

☆ 今後：いじめをしようと思いつかないくらい、毎日が楽しいことのできる学校にしたい。



○私たちの取組

「いじめ防止宣言」の作成

○取組の紹介

生徒会総会で「いじめ防止宣言を作成すること」について協議し、今年度中の完成を目指し全校で作成することとなりました。その後、学活や朝の帯活動を通して、「いじめとは何か、どこからがいじめか」や「どうすれば誰もいじめをしない・いじめられない学校を目指せるのか」などについて何度も学級で話し合い、中央委員会で協議しました。また、その結果、「いじめをしない」「いじめをさせない」「いじめのない明るい学校づくり」という内容の3文でいじめ防止宣言文を作成することになりました。さらに、2月に臨時生徒総会を行い、3月までに全校生徒の意見を取り入れた宣言文をつくろうと頑張っています。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

大崎市立古川中学校

○ 私たちの取組

部活動毎のあいさつ運動

○ 取組の紹介

明るく元気なあいさつが飛び交う学校を目指して、毎朝校門であいさつ運動を行っています。明るく元気なあいさつが溢れる学校には、いじめ問題も起こりにくいと考えます。そして、古川中学校の特徴は、生徒会執行部とともに、部活動毎にあいさつ運動を行っているということです。部活動毎にあいさつを行うことで、生徒会執行部だけで行うより、元気で大きなあいさつが交わされるようになりました。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

大崎市立古川中学校

○ 私たちの取組

生徒総会での話し合い（ファシリテーショングラフィック）

○ 取組の紹介

生徒総会でより良い学校づくりについて話し合いを行っています。まず、学級毎にブレインストーミングで話し合いを行い、学年委員がまとめます。その後、生徒総会で生徒会執行部がファシリテーターとなり、各学年委員とステージ上で話し合いをします。話し合いは、スクリーンにライブ中継し、全校生徒がその話し合いを聞きながらメモを取り、自分にできることを決めるという流れで行いました。みんなが行きたくなる学校にするために、自分にはどんなことができるのかを考える良い機会になっています。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

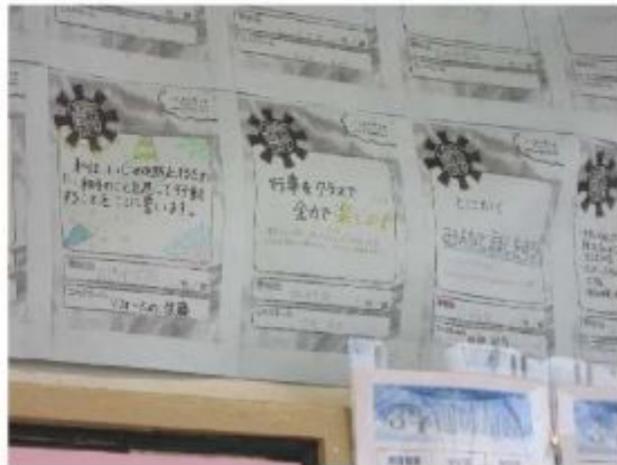
大崎市立古川中学校

○ 私たちの取組

NHK「いじめを考えるキャンペーン」への参加

○ 取組の紹介

NHKの「いじめを考えるキャンペーン」で、元AKB48の高橋みなみさんがMCを務める「いじめをノックアウト」に参加しました。生徒全員がいじめを無くすための「わたしの行動宣言」を考えて専用の用紙に書き、学級内に掲示しています。一人一人が意識していじめ防止のために行動することで、過ごしやすい学校生活になることを目指しています。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

大崎市立古川西中学校

○ 私たちの取組 ^あ
所^あまし合いの輪

○ 取組の紹介

・他の人の「すごいな」「頑張っているな」「助かったな」「ありがたかったな」と感じたり、思ったりした事を書いて箱に入れてもらいます。

・内容を整理して、模造紙に貼り、掲示して、皆に見てもらいます。

・こうすることにより、自分が他の人に認められていることが分かって、うれしくなると考え実施しました。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

大崎市立古川北中学校

○ 私たちの取組

全校生徒で、いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」についての話し合いを行った。話し合いを持つことで、いじめについて深く考え、いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」を意識することができた。

○ 取組の紹介

『いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」』を考える上で、「いじめ」とはどんなものなのかを始めに取り上げ、最終的に『いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」』考えた。各学級で話し合いの場を設定し、その内容を学級委員がまとめ、最後に各学級でまとめた内容を生徒会で話し合い、古川北中では取り組むべき『いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」』を集会で発表した。生徒会でまとめた内容は廊下に掲示し、全校生徒の目に見えるようにした。

下記は、生徒会がまとめた、古川北中が考える『いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」』である。



<生徒集会での発表の様子>



<廊下掲示>

1. いじめとは？

- ・暴言、暴力、無視、嫌がらせ、仲間はずれ、ネット上での誹謗中傷など

2. いじめを無くすために取り組むことは？

- ・暴力をしたり暴言を吐いたりしない。 ・声がけをする。
- ・相談しやすい環境を作る。

3. 誰もが行きたくなる学校とは？

- ・みんなが平等に接する学校 ・楽しく仲良く誰とでも話せる学校
- ・誰もが分かり合える学校

4. 3の学校をつくるために取り組むこと

- ・生徒会が中心となり、みんなのコミュニケーションの場をつくる。 ・積極的にたくさんの人と話す。
- ・全員が参加できるゲームを企画する。 ・一人一人の苦手な所を受け入れる。

(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

大崎市立古川東中学校

○ 私たちの取り組み

あいさつ運動

～あいさつについて考えるきっかけをつくり、生徒間の交流の幅を広げることで、いじめを生まない～

○ 取組の紹介

- ・部活毎に1週間交代で行う。
- ・場所は、昇降口前。朝の登校時間7:50～8:05
- ・以前から行っていたが、場所や人数を変更するなどの工夫をした。

〈成果として〉

- ・あいさつを返してくれる人が増え、交流の幅が広がった。
- ・これからも継続して行い、全員が誰とでもあいさつのできる学校にしていきたい。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

大崎市立古川東中学校

○ 私たちの取組

全校生徒の要望や相談に答える目安箱（ポスト君）

～意見を反映することで、困っていることを把握し改善することでいじめを生まない～

○ 取組の紹介

- ・設置場所：各階廊下。月2回、回収し中央委員会などに提案を行う。
- ・誰でも気軽に利用できるように設置場所などを工夫した。
- ・全校生徒の意見を反映することができる。

〈成果として〉

- ・意見を述べやすい環境にすることができた。
- ・これからは、道徳の授業などで培った「いろいろな考えを取り入れる」ことも活用して、さらに思いやりの心を育てていける学校にしていきたい。

〈課題として〉

- ・誰でも、いつでも、何でも書けるという利点がある。しかし中には、いたずら書きをする生徒がいる。いたずら書きをしないようにすることが今後の課題。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

大崎市立古川東中学校

○ 私たちの取組

清掃の強化

～清潔な学校を保ち、時間や心にゆとりを持つことで、いじめを生まない～

○ 取組の紹介

- ・毎週金曜日に重点箇所を決めて清掃する。
放課後に環境美化委員が点検を行い、後日報告する。

〈成果として〉

- ・重点箇所を決めることで、細かい部分にも目を向けることができた。
- ・清掃に真剣に取り組む生徒が増えた。
- ・環境美化委員を中心に、ごみを拾う生徒や消しゴムのカスをゴミ箱に捨てる生徒が増えた。
- ・一人一人が学校をきれいにする意識が高まってきている。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

大崎市立古川南中学校

○ 私たちの取組

あいさつ運動

○ 取組の紹介

朝昇降口前で7時50分～8時05分まで行っています。以前は、登校してくる生徒の横に並び、あいさつを行っていましたが、今年度は並び方を変えて顔を合わせてあいさつをしています。すると、あいさつをしてくれる人が多くなり学校全体が明るい雰囲気、学校内でも積極的にあいさつを交わすようになりました。そのため、生徒の間で関わりが増え、いじめがない学校へと進んでいます。

各部活動が1週間ごとに交代し取り組んでいます。
また、生徒会執行部は毎朝取り組んでおり、日々努力しています。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

大崎市立松山中学校

○ 私たちの取組

あいさつ運動の実施

○ 取組の紹介

- ・各部活が週替わりに校舎前に立ち、登校してくる生徒に対しあいさつを行っている。
- ・月曜日と金曜日には、生徒会執行部と有志の生徒も加わり、あいさつ運動に参加している。
- ・前期には3年生の有志が多く参加していたが、後期になると1・2年生が増え、学校としてうまく引き継ぎが行われた。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

大崎市立松山中学校

○ 私たちの取組

全校ディスカッション「より良い松山中学校にするために」

○ 取組の紹介

- ・「より良い松山中学校にするために」という題で、全校生徒でディスカッションを行った。
- ・各クラスの生活班毎に現在の松山中学校の課題を出し合い、それを改善するためにどのような活動を行っていけば良いか話し合った。
- ・各班の意見を基に、班長たちが話し合い、クラスの意見として課題と取り組みについて全校へ発表した。

〈 課題 〉	〈 取り組み 〉
あいさつが小さい	⇒ あいさつ運動の活性化
服装が乱れている	⇒ 生活安全委員会による 服装チェックの徹底
廊下を走る	⇒ 友人同士で注意し合い、 それでも走った場合は 反省文を書かせる



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

大崎市立松山中学校

○ 私たちの取組

いじめゼロ CM コンクールへの出展

○ 取組の紹介

- ・ いじめゼロ CM コンクールへ出展する映像作品づくりを生徒会執行部が中心となって行った。
- ・ いじめをなくすには、生徒全員が思いやりを持ち、それを繋いでいくということが大切だという考えのもと、思いやりをたすきとして表現した。
- ・ コンクールでは佳作を受賞した。
- ・ 作品を全校での朝会や地域の方や保護者に向けて文化祭で披露した。



（様式） いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

大崎市立三本木中学校

- 私たちの取組
「行きたくなる学校づくり」についての話し合い
- 取組の紹介
中央委員会で各専門委員長が3グループに分かれて「行きたくなる学校づくり」について話し合いを行い、模造紙にまとめ、発表し合った。生徒会執行部がファシリテーターとして話し合いを深めた。後日、その模造紙を廊下に掲示し、全校生徒に閲覧できるようにした。
この活動を通して、以下の成果があった。
 - ① 生徒会が取り組むべき今後の活動（挨拶運動の活性化、目安箱の増設、他学年との交流スポーツレクの開催等）について確認できた。
 - ② 一般生徒が話し合いの模造紙を閲覧し、「行きたくなる学校」について自ら考えたり、意識したりするようになってきた。
 - ③ 専門委員長や執行部の生徒が普段の生活で気を付けること（周囲の友人に前向きな呼び掛けをする、思いやりのある言動をする等）が確認でき、リーダーとして必要なことが共通理解できた。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

大崎市立鹿島台中学校

○ 私たちの取組

生徒会の「三種の神器」を利用した広報活動

○ 取組の紹介

いじめフォーラム ワークショップ21班（本校生徒会長所属）の「私たちが取り組むこと」をベースに生徒会の三種の神器である「呼びかけ・放送・ポスター」を用いて、全校生徒がけじめをもって生活し、切磋琢磨することのできる環境作りに努めました。

中央委員会や専門委員会の活動で話し合われたことや、いじめフォーラム、おおさき生徒会サミットの内容を生徒会の掲示板に張り出しました。そうすることで、よりよい学校にするためにどのようにすればよいか、全校生徒が考えるきっかけになってくれると思います。

また、毎月の生徒会目標を掲示したり放送で呼びかけたりすることで、目標に向けて切磋琢磨し、よい人間関係が築けるのではないかと考えています。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

大崎市立岩出山中学校

○ 私たちの取組

岩中生ならどうする？天使と悪魔動画作成

○ 取組の紹介

楽しい学校の雰囲気作りや、岩中生としての望ましい姿を分かりやすく伝えるために生徒会で「天使と悪魔」を題材に「正しい場合」「間違っている場合」を動画で作成し、全校生徒に見てもらいました。「いじめを生まない」ためには私たち一人一人がお互いのことを思いやることや当たり前のことを当たり前に行うことが大切だと考えました。そこで具体的な場面として、床にゴミが落ちていたらどうするか(ゴミが落ちている学校は気持ちも荒れてくる)、カバンの正しい並べ方はどのようなものか(共有スペースに並べているため互いに気を使うべき)などを例に挙げ紹介しました。全校生徒が正しく判断を行い、規律ある生活を送ることができれば「いじめも生まれにくい」と考えました。また、ユニークな動画を見ることで学校生活を楽しく感じられれば「行きたくなる学校づくり」になると考えました。動画を見てからの事後アンケートでは「楽しかった。」「面白かった。」という意見を多くもらうことができました。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

大崎市立鳴子中学校

○ 私たちの取組

生徒会の行事として互いを理解し、コミュニケーション能力の向上を目指して、年3回の「全校交流会」を実施しています。

○ 取組の紹介

全校交流会は、生徒会執行部が中心となり生徒たちがお互いを知り、認め合えるようにグループを組みゲームなどをして楽しむ企画を立てます。

生徒はもちろんのこと、校長先生をはじめ、すべての先生方にも加わってもらい、生徒と教師のコミュニケーションの向上にも努めています。

生徒たちは、先生方の今まで気づかなかった一面を発見することで、先生との人間関係の構築にも役立っています。

また先生方も、今まで見たことのない一人一人の生徒の良さに気付く良い機会となっています。

「いじめ」は、いつ、どこでも起こりうることを忘れず、今後もお互いを理解するための活動を継続していきたいと思えます。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

大崎市立田尻中学校

○ 私たちの取組

- ・ いじめ追放宣言

○ 取組の紹介

- ・ 生徒会が「いじめ追放宣言」の趣旨を全校生徒に伝え、学級ごとに署名をする。
- ・ 学級委員が先導し、学級の生徒全員で「いじめ追放宣言」を唱和する。
- ・ その後、廊下に掲示し生徒一人一人の意識を高めた。

署名をしている様子



「いじめ追放宣言」を唱和している様子



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

色麻町立色麻中学校

○ 私たちの取組

あいさつ運動（どこでもあいさつ運動，どこでもあけおめ運動）

○ 取組の紹介

私たちの学校では、毎週水曜日に生徒会を中心として、みんなで昇降口に立ち、あいさつ運動を行っています。あいさつ運動により、水曜日の朝は学校全体のあいさつが活発になり、学校の雰囲気明るくなっています。一方で、学年により、あいさつ運動への参加率にかたよりがあつたり、あいさつ運動中に、あいさつをせず、話してしまう人がいたりなどの課題も見えてきました。

そこで、その課題を解決する為、改善策を執行部で話し合いました。そして、教室の近くなら、あいさつ運動への参加率が上がると考え、昇降口以外の場所でもあいさつ運動を行う「どこでもあいさつ運動」を始めました。さらに、3学期の始業式の日には、新年ということもあり、「あけましておめでとうございます」とあいさつを交わす「どこでもあけおめ運動」を実施しました。

今後は、あいさつ運動の日以外も活発なあいさつが交わされるよう、生徒会執行部で工夫をしながら、明るい雰囲気の学校にしていきたいです。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

色麻町立色麻中学校

○ 私たちの取組

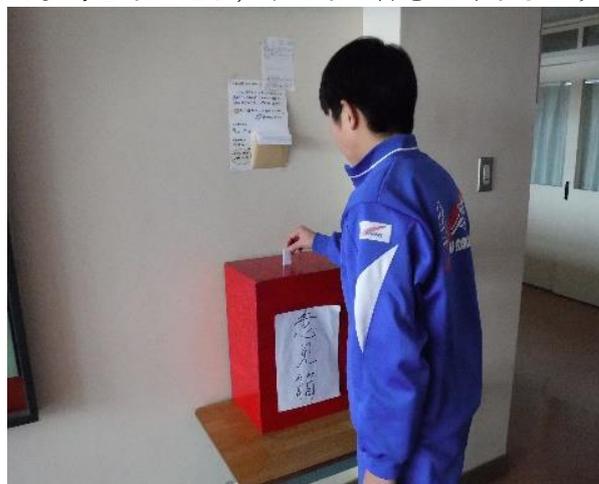
意見箱の設置

○ 取組の紹介

校舎に意見箱を設置し、生徒1人1人の意見や疑問を集め、執行部や各委員会が答えます。意見箱を設置したことで、学校生活で疑問に感じていることや、改善した方が良い点など、全校生徒の声を直接聞くことができ、生徒会の各取組を行う上で参考となったり、みんなが行きたくなるような学校にしていくための意見を聞いたりすることができます。また、執行部や各委員会で、その意見や疑問に対する回答を考えるので、生徒自身で学校を良くしていく方法を考えることができます。

課題としては、まだまだ周知が足りず、意見箱を活用してくれる人が少ないので、放送やポスターなどを用いて意見箱の利用を呼びかけていく予定です。

生徒全員が生活しやすい学校にしていけるよう広く意見を求めています。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

色麻町立色麻中学校

○ 私たちの取組

校訓ウィーク(誠実川柳, 聡明クエスト, KC祭)

○ 取組の紹介

校訓ウィークとは、色麻中学校の校訓である「聡明」「誠実」「強健」を、全校生徒で交流しながら、根付かせたいと思い、行った取組です。

誠実ウィークでは、誠実をテーマに全校生徒で五・七・五の川柳をつくる「誠実川柳」を行いました。作品の中から、最優秀賞や優秀賞、優良賞を決めました。作品は、文化祭で掲示し保護者や地域の方々にも見ていただきました。聡明ウィークでは、自ら学ぶ態度を身に付けるために、校内に隠された問題を探して解く「聡明クエスト」を行いました。強健ウィークでは、たくましい体を作るために、クラス対抗でドッジボールを行う「KC祭(カップカブ)」を開催しました。

校訓ウィークを通し、全校生徒が学年の壁を越えて交流することができ、成功で終わりました。しかし、校訓が全校生徒に根付くには、まだ課題があります。その課題を克服し、更に良いイベントにしていきたいと思います。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

加美町立小野田中学校

○ 私たちの取組

生徒会劇～「明日も行きたい学校」にするために～

○ 取組の紹介

今年度の生徒会スローガンである「明日も行きたい学校」の取組の一端として、文化祭で生徒会劇を演じることにしました。

ストーリーは、学校に設置した目安箱に「人からからかわれて、学校に行きたくない」という投書が見つかり、生徒会執行部が知恵を出し合い、投書した生徒と一緒に課題を解決していく、というもの。

いじめは絶対に許されないということや、いじめに負けない精神力の大切さを、笑いを交えた劇を通して、全校生徒に考えさせることができました。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

浦谷町立浦谷中学校

○ 私たちの取組 「いじめ撲滅」キャンペーンの展開

○ 取組の紹介

- ① 「いじめをしない・させない・許さない」風土をつくるため、全校生徒に「いじめをする人、傍観者になっている人、いじめをされる人に向けての声掛け」を問うアンケートを実施した。
- ② 「いじめをしない・させない・許さない」風土をつくるため、全校集会を実施。この中で、全校の意見によって作成した「いじめ撲滅宣言」を全校生徒で唱和した。
- ③ 「いじめ撲滅宣言」に賛同した証として、サクラ型のカードに各自署名。これを各学級の掲示物として作成し、教室の常に目に入るところへ掲示した。
- ④ 「いじめ撲滅宣言」は、毎週週始めの朝の会で唱和し、常に心に留められるようにした。
- ⑤ いじめ撲滅CMを制作。県の「いじめゼロCMコンテスト」に応募した。(優秀賞受賞)
- ⑥ 「全国いじめ問題子供サミット」へ参加し、全国の中学生といじめ問題について意見交換をした。帰校後、ここで話し合われた内容を執行部員・全学年の学級委員と共有した。今後の活動に生かす予定である。



いじめ撲滅宣言全校集会の様子

(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

美里町立小牛田中学校

○ 私たちの取組

いじめについて考える「全校ワークショップ」

○ 取組の紹介

私たちの生徒会では、3年前から「全校ワークショップ」を行っています。グループは1～3年生が混じった15名前後で構成し、体育館で一同に会して1つの話題について考えます。これまでもいじめや学校生活に関わることを話題にして話し合ってきました。

今回はフォーラムに参加したことをきっかけに、「ネットいじめ」について、全校生徒で話し合いました。ネットいじめの事例を提示し、その事例について「何が問題であるのか」「解決するためにはどんな行動をとればよいのか」を話し合い、最後に「自分の身の周りでネットいじめを生まないように『ネットいじめ撲滅宣言』を作ろう」というテーマで、グループごとに考え、全体発表を行いました。「悪口は言わない、書かない、広めない」「やめましょう、ネットの悪口！幸せになる人は1人もいない」などの撲滅宣言ができました。この活動を通して、全校生徒一人一人が「いじめは絶対にやってはいけない」という意識を高めることができました。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

美里町立南郷中学校

○ 私たちの取組

あいさつ運動

○ 取組の紹介

- ・ 毎朝、生徒会を中心とした生徒たちが昇降口前に集まり、登校してきた生徒に明るく元気にあいさつをする、あいさつ運動に取り組んでいます。
- ・ 曜日毎に部活動や委員会単位で当番を決めて、全校生徒があいさつ運動に参加できるように工夫しています。
- ・ 部活動や委員会単位で活動するため、異年齢集団となり、学年の友人関係の枠を越えて生徒同士が関わることができます。
- ・ 生徒同士であいさつをして、一人一人とコミュニケーションをとることができる機会が増えるので、学校への所属感につながるため、いじめを生まない学校づくりにつながっています。

